

## 事業者名：中国紙工業株式会社（第1回令和元年9月認定、第2回令和4年12月認定）

### 事業継続力強化計画のポイント

- ◆全社員参加の防災訓練・定期的な見直しの実施
- ◆新工場建設により災害時のリスクを分散

所在：広島県尾道市美ノ郷町本郷字

新池田455番地54

業種：製造業（パルプ・紙・紙加工品）

従業員数：140人（2023年12月現在）

設立年月日：昭和52年4月



### 企業の概要について

産業用包装資材向けのラミネート加工紙製造であり、製袋業者を中心に各社のサプライチェーンにおいて重要な資材を供給している。また、ラミネート加工だけでなく、印刷、スリット、小巻等後加工も行える設備を保有しており、一貫生産できることがサプライチェーン上の強みとなっている。

### なぜ事業継続力強化計画作りに取り組んだのか（策定したきっかけ）

新工場建設を検討していたところ、日本政策金融公庫の担当者から、事業継続力強化計画の低利融資制度の紹介を受けたことがきっかけ。工場の新設により、災害時のリスク分散が可能となった。東日本大震災での社長の被災経験等もあり、従前より企業として災害に対して事前に備えることの必要性を実感していた。経営層主導のもと、全社員参加型で、本計画に基づき、防災・減災に取り組んでいる。

### 取組の紹介（事前対策）

#### ◆ヒト

- ・年2回の防災訓練（春・秋）を実施。（消防署と連携した火災・放水訓練、AED講習など）
- ・安否確認システムの整備。（抜き打ちでの訓練も実施）
- ・事前に災害発生時の出勤ルールを取り決め。

#### ◆モノ

- ・工場内にくまなく放送が流れるよう、スピーカーを増設。地震の際は、「尾道防災ラジオ」から同時情報が流れる仕組みに改良

#### ◆カネ

- ・総合保障型保険（火災・落雷・風害）に加入。

#### ◆情報

- ・会計事務所や、保守管理を委託しているシステム会社サーバーに会社情報をバックアップ済。

### 事業継続力強化計画の認定後の取組み

- ・主に現場社員で構成の「安全委員会」が防災を担当。「安全委員会」主導の下、防災訓練の内容を見直している。見直しのサイクルは、現場レベルで出た提案を安全委員会で議論・決定→決定内容を実行→決定内容が妥当であったか現場を含めて再検討というもの。従来、防災訓練は火災のみを想定したものであったところ、地震も想定すべきであるという現場の意見を元に、地震発生時の一時避難場所の設定や、地震発生を想定した防災訓練を行った。又常時リスクアセスメントを行い、職場環境改善に全員で取り組んでいる。
- ・本計画を策定したことで、防災・減災の取組が明文化され、より組織的な取組ができるようになった。

### 事業者からのメッセージ

計画の策定や認定を受けた事より、それを契機に社内の防災意識が高まり、防災を意識した整理整頓を含め、色んな改善活動に繋がった事の方が意義があったと感じています。

実際社内での怪我の発生件数も減少しており、社員一同取り組みによる成果を実感しているところです。



代表取締役の村上忠正さん